

V. 国際事業のESG経営

活動報告：アメリカ

活動報告：オーストラリア

活動報告：イギリス

活動報告：中国

活動報告：シンガポール

活動報告：各国共通

国際事業のESG経営

積水ハウステクノロジーを 世界のデファクトスタンダードに

積水ハウスは創業以来60年間、時代に応じて必要とされる住まいを提供し、社会課題の解決に寄与してきました。安全・安心・快適を実現する技術など、これまでの歴史で培った積水ハウステクノロジーを国外にも普及させ、「わが家」を世界一 幸せな場所にするというグローバルビジョンのもと、お客様の声に応えながら各国の様々な課題解決や住環境の向上に貢献して参ります。



国際事業のESG経営

V. 国際事業のESG経営

活動報告：アメリカ

活動報告：オーストラリア

活動報告：イギリス

活動報告：中国

活動報告：シンガポール

活動報告：各国共通

活動報告 アメリカ

米国は国土が広い、エリアごとに重視する課題が異なります。持続可能社会の実現に向け、日本での取り組みをアメリカで応用しながら、現地パートナー企業と確立した共同理念に従って、環境・社会課題の解決と住まいへの新しい価値提供を目指します。

E 脱炭素社会を先導する

大規模公園の整備と「5本の樹」計画でコミュニティの環境意識を向上

シアトル近郊で進行中のコミュニティ開発プロジェクト Tehaleh は、約19km²の敷地に商業、オフィス、研究開発施設などを配置しながら、約9500戸の住戸が計画されている大規模開発です。現在、約7.3haの大規模公園(Discovery Park)を整備中です。当社は住民の方々とともに、周辺の他の保存エリア・オープンスペースとの相乗効果を生み出すコンセプト計画をつくり出しました。

また、小学校に隣接する立地から、子どもに自然環境学習を提供できるよう「5本の樹」計画に基づいた在来樹種の生育や巣箱の設置を行いました。植物が自然に交配する環境をつくり、自然との共生を意識させる空間づくりを進めています。



Tehalehの住宅

ウッドサイド・ホームズ社による環境対応型の商品開発強化

カリフォルニア州は、環境関連の法整備を積極的に行ってきた環境先進州です。温室効果ガスの排出量削減が法制化されており、2020年から全米で初めて、新築住宅に太陽光発電の導入を義務付ける新しい規制が施行されました。

当社の子会社であるウッドサイド・ホームズ社は同州の環境・建築物省エネ基準の改定に伴い、ゼロ・ネット・エネルギー(ZNE: 米国版ZEH)住宅の推進に向けて、環境対応型の商品開発を強化しています。

アリゾナ州のグレンデールでは、LEED Certificate※を取得する環境配慮型コミュニティの計画が始まっています(2022年コミュニティオープン予定)。

※グリーンビルディング協会(USGBC: US Green Building Council)が開発・運用を行う、建物と敷地利用についての環境性能評価の認証システム。



生活提案型の一例(在宅ワークスペース)

S 「住」の可能性を追求する

生活提案型のオプションリリース

2020年10月、ウッドサイド・ホームズ社は住まい手の「健康」が一番大事であるという考え方を形にした「Healthy Home Package」を発売しました。さらに、12月には環境配慮に対応しながら快適な生活を提案する、太陽光パネル、高性能断熱材、高効率家電などをパッケージした「Conscious Comfort Package」を生活提案型オプションとしてリリースしました。

2020年のIBS・コンセプトホームに続く「シャーウッド」のパイロットプロジェクト開始

当社は2020年1月、ラスベガスで開催された米国最大の住宅見本市「IBS (International Builders' Show) 2020」に日本のハウスメーカーとして初めて出展※、米国初の「シャーウッド」(積水ハウスのオリジナル木造住宅)によるコンセプトホームを建設し、一般公開しました。防耐火性能や省メンテナンス性を持つ陶版外壁「バルバーン」を使用、高い耐震性と太陽光発電、蓄電池を搭載した米国版ZEH住宅は、米国が抱える社会課題に対して解決の道筋を示すものであり、参加者から高い評価を得ました。

このIBSでのコンセプトホームのプロジェクトに続き、2020年4月、新たに「シャーウッド」のパイロットプロジェクトがスタートしました。「シャーウッド」のテクノロジーを米国にも移植し、課題解決を目指すとともに、「住宅を通して社会を良くしていく」という当社の方向性を引き続き発信していきます。

国際事業の ESG 経営

V. 国際事業の ESG 経営

活動報告：アメリカ

活動報告：オーストラリア

活動報告：イギリス

活動報告：中国

活動報告：シンガポール

活動報告：各国共通

※「初めて出展」については、開示資料などに基づく当社調査によるもの。IBSは、毎年約8万5000人以上の建設業界関係者、機関投資家などが世界中から訪れる住宅見本市。コンセプトホームとは、選ばれた1企業による実物展示のことで、IBS2020では当社がウッドサイド・ホームズ社とともに建設。



高い耐震性と ZEH 仕様の「シャーウッド」によるコンセプトホームの内観

S 地域社会と共生する

イベント、チャリティに参加し、地域社会に貢献

ウッドサイド・ホームズ社は、セントジュード小児研究病院※1が主催するチャリティイベント「Dream Home Giveaway」※2に2019年から参加しています。ラスベガスで始まり、2020年にはサクラメントを加え、2021年も引き続き参加しました。

イベントは全米約40都市で実施されており、同社はラスベガスとサクラメントにて、住宅建設に伴う施工費と材料費

をほぼ無償で提供。セントジュードの活動支援を通して、米国内小児医療環境の向上に寄与しています。

この他にも、社員による地域の清掃イベントなどの開催や各種チャリティを通して地域社会への貢献活動を行っています。

※1 テネシー州メンフィスで1962年に設立された、世界的に有名な小児科治療研究施設で、無償で子どもの治療や家族をサポートしている。

※2 個人から寄付金を募り、その一部を抽選で当選した方へのプレゼント(土地付きの家)として還元するイベント。



「Dream Home Giveaway」チャリティイベント
ウッドサイド・ホームズ社が提供した家の着工の様子

S 多様なチカラを結集する

初の女性役員・ディビジョンヘッドが誕生

従業員に占める女性の割合は日本よりも高い傾向にあり、管理職に登用される女性も年々増えています。2020年、カリフォルニア州のセントラルバレー支店で、ウッドサイド・ホームズ社としては女性初の支店長が、さらに2021年4月にはリサーチ・マーケティングの責任者であるCIMO: Chief Insight and Marketing Officerが同社初の女性役員として誕生しました。

活動報告 オーストラリア

オーストラリア版「シャーウッド」構法を用い、現地の気候・風土・ニーズに合わせて日本品質の快適な住宅を提供。技術のみならず、社会・環境・経済・住まい手の価値を実現する総合的な持続可能性を追求した大規模開発を行っています。こうした取り組みは、環境配慮技術などで世界的な賞を受賞したCentral Parkをはじめ、West Villageなど多くのプロジェクトで受賞を果たしています。



印象的な壁面緑化と空中庭園、反射板で自然光を活用した Central Park プロジェクト。その中の高層マンション棟の一つが2019年に高層ビル・都市居住協議会 (CTBUH: Council on Tall Building and Urban Habitat) より世界最高賞を受賞し、名実ともに「世界一」の評価をいただきました。

国際事業のESG経営

V. 国際事業のESG経営

活動報告：アメリカ

活動報告：オーストラリア

活動報告：イギリス

活動報告：中国

活動報告：シンガポール

活動報告：各国共通

E 脱炭素社会を先導する

ZEH仕様の「SHINKA House」を竣工

「シャーウッド」は、住宅の断熱性・気密性の高さが大きく寄与し、現地の住宅に求められるサステナビリティ指標の基準を標準仕様で大きく上回っています。これに太陽光発電などを付加し、ZEH対応パイロットハウスである「SHINKA House」が2020年、シドニー郊外に開発中の分譲住宅地「The Hermitage」に竣工しました。

当社が日本で推進している「新・里山」「5本の樹」計画のコンセプトをそのまま「シャーウッド」住宅建築・宅地開発・マンション開発を問わず、全プロジェクトに展開しています。開発プラン検討初期に計画地の地形などを詳細に調査し、極力、既存樹を残し、その恵みを最大限享受できる街路計画・配棟計画としています。また、植樹する際は在来種を中心とし、地域の生態系保全を図っています。



シャーウッドZEH対応「SHINKA House」

三つのプロジェクトで「Green Star」に認定

ブリスベン郊外の大規模複合開発 Ecco Ripley では、商業施設の駐車場屋根へ太陽光パネルを設置し、共用部の電力削減に取り組むとともに、発電量と消費電力量をモニターでお客様にご覧いただくことで、企業としての地球温暖化防止対策の見える化を進めています。また、グリーンビルディング協会(GBCA:Green Building Council of Australia)による、Greenstar評価システム※において、Ecco Ripleyが2015年に続き、2020年にも「5-star Green Star」を取得しました。敷地内の Ripley Town Centerでも同様に取得しています。

2017年に最高値の「6-star Green Star」を取得した West Village と合わせ、現在3プロジェクトが Green Star に認定されています。

※建築物、設備、コミュニティなどを評価する国際的に認められた持続可能性の評価システム



Green Starで「5-star Green Star」を取得した Ecco Ripley のまちなみ

積水ハウスの環境技術を生かした大規模プロジェクトが各地で進行中

West Village(ブリスベン)では、歴史的建築物である旧アイスクリーム工場の外観構造を残し、補修工事を出た廃タイルを歩道タイルとして再利用しています。商業部分の飲食業テナントからの廃棄食品を100%回収し、バイオ燃料やコンポスト(有機物を微生物の働きで分解させて堆肥にする処理方法)として再利用しています。



歴史的建築物を活用した West Village

国際事業の ESG 経営

V. 国際事業の ESG 経営

活動報告：アメリカ

活動報告：オーストラリア

活動報告：イギリス

活動報告：中国

活動報告：シンガポール

活動報告：各国共通

S 多様なチカラを結集する

先進的なダイバーシティ&インクルージョン 女性社員雇用率50%、女性管理職8%に

West Village では2020年、マーケティングと営業の担当者が、オーストラリア都市開発研究所クイーンズランド支部 (UDIA Queensland: Urban Development Institute of Australia Queensland) が主催する「2020 Women in Leadership Award for Excellence」を受賞しました。



「2020 Women in Leadership Award for Excellence」の受賞者

G インテグリティを体現する

ガバナンス強化に関する取り組み

各プロジェクトにおいて、現地経営陣と担当社員が出席し、報告、意思決定の場としてプロジェクト・コントロール・ミーティングを毎月実施しています。

パワハラ・セクハラなどの研修、コンプライアンスを含む研修については、入社時および入社後も継続的に実施。日本人社員と現地社員がともに受講し、垣根なく取り組んでいます。

年度末決算時には、法定会計監査を行い、かつ積水ハウス本社より年に1度の内部統制監査を実施しています。

活動報告 イギリス

2019年5月、現地行政機関ホームズ・イングランドおよび総合不動産会社アーバン・スプラッシュ社とパートナーシップを組み、英国の住宅市場に本格参入しました。

英国は、深刻な住宅不足という大きな社会問題を抱えています。また、現地の伝統的な石造りやレンガ造りの住宅は、生産性や工期、品質面で課題が多く、これに代わる良質な住宅が必要とされています。当社の高品質・短工期な工業化住宅の技術を取り入れることで、現地の課題解決に寄与したいと考えています。

E 脱炭素社会を先導する

現地政府の施策に合わせながらZEHを推進 重要課題の生態系保全には「5本の樹」計画

英国政府は2050年までに脱炭素化することを目標としており、各省庁や地方自治体が積極的な取り組み姿勢を見せています。住宅産業に対しても当然変革が求められる中、当社がこれまで国内で築いてきたZEHの技術と実績をもとに、英国の環境課題解決に貢献してまいります。

英国のエネルギー環境等級評価システム (EPC: Energy Performance Certificate) において、業界のリーディング等級である「A等級」と「B等級」を標準化する形で住宅の供給を実施しています。また、政府の施策に合わせて、ゼロカーボン住宅の可能性についても検討中です。

生物多様性保全の観点では、積水ハウスの掲げる「5本の樹」計画のコンセプトを複数のプロジェクトにて導入する

予定です。生物多様性の保全は、2020年から英国行政が推進している課題解決が必要な重要項目として挙げられています。「5本の樹」計画によるアプローチは英国内でも評価が高く、実現に向けて着々と進行中です。

新規プロジェクト Northstowe では、方位別の庭の活用法を提案し、自然と共生するライフスタイルを販売促進ツールとして開発中です。建物だけでなく、庭の付加価値も高めることで差異化を図っています。



Northstowe で進行中の住宅開発プロジェクト

国際事業の ESG 経営

V. 国際事業の ESG 経営

活動報告：アメリカ

活動報告：オーストラリア

活動報告：イギリス

活動報告：中国

活動報告：シンガポール

活動報告：各国共通

G インテグリティを体現する

リスクマネジメント強化・財務健全性強化

2019年の共同事業会社設立以降、新たな経営体制づくりや組織・会議体強化のため、レポーティングライン(指揮系統、情報共有経路)の明確化や進捗の「見える化」を推進してきました。現在、シンプルで明快な組織構造およびレポーティングラインを設計しており、一元管理の実現に向けて進めているところです。

リスクマネジメントについては、リスク管理および事業予算実績管理の徹底と強化を図るべく、委員会の組成を検討中です。また、財務健全性を強化するために、明確な規律とリスク管理フレームワーク構築を実施しています。

活動報告 中国

瀋陽、蘇州、無錫、太倉を中心に、独自の「積水住宅・裕沁(ユーチン)」ブランドで日本の環境配慮型住宅の実績を生かしたタウンハウス事業や、世界水準の住空間を創出するマンション事業、商業施設などの開発事業を展開しています。中国の歴史や文化を深く理解し、大切にしながら持続可能な住まいづくり、まちづくりを進めています。

E 脱炭素社会を先導する

環境配慮型住宅の供給で国家的課題の解決へ

中国は世界で最もCO₂排出量が多く、国家を挙げて環境問題に取り組む中、当社プロジェクトにおいても環境に配慮した住まいを提供すべく、建材や仕様に配慮しています。太倉Ⅰのプロジェクトでは、中国の環境配慮建築の評価制度で、住宅建築における最高の等級「緑色建築 2星級」を設計と運営の両部門にて獲得しました。

「5本の樹」計画を取り入れ、プロジェクト地域での在来種を組み合わせて植栽しています。里山の景観をつくり、鳥や蝶など、自然循環を形成する環境づくりに努めています。



環境配慮建築として高い評価を受けた太倉裕沁庭

S 「住」の可能性を追求する

住まい手目線に立った内装計画とアフターメンテナンスの充実

中国の住宅市場はスケルトン状態での販売が一般的です。その中で当社は、内装まで責任を持った住まいづくりが不可欠であると考え、品質の高い内装や、住まい手目線の細やかな収納計画に基づいた収納設備を備えた住戸を提案しています。さらに、施工や品質だけでなく、アフターメンテナンスの充実によって、住んでからも「信頼・安全・安心の提供」に努め、オーナー様にご満足いただいています。

アフターサービスには、各拠点にカスタマーズ社員を配置して当たっています。中国富裕層の施工管理やアフターサービスに対する期待値は非常に高く、期待を上回る価値観を体感していただくことで「裕沁」ブランドの確立に努めています。

G インテグリティを体現する

体制変更によるガバナンス強化と腐敗防止策

2021年度より、国際事業部との連携強化及び承認システムの変更を行い、単独判断する事なく、ダブル・トリプルチェックができる体制にしました。これによりガバナンス強化を図っています。

また、海外監査室・第三者機関の監査・各種研修会の開催及び内部通報制度の活用により、コンプライアンスの推進も図っています。

財務については、2021年度から、より高い健全性を保つ為に、各SPCの財務責任者を副総経理に配置しました。

国際事業の ESG 経営

V. 国際事業の ESG 経営

活動報告：アメリカ

活動報告：オーストラリア

活動報告：イギリス

活動報告：中国

活動報告：シンガポール

活動報告：各国共通

活動報告 シンガポール

シンガポールでは、パートナーの有力デベロッパーとともに、現地の暮らしに合った付加価値の高い住宅開発に取り組んでいます。

住宅・商業大規模複合開発案件として関心を集めている One Holland Village プロジェクトをはじめ、すべてのプロジェクトで持続可能なコミュニティの創出を目指しています。積水ハウスの住まいづくり、まちづくりの考え方、デザインなどを現地の生活や環境に適したスタイルで導入し、新しい価値を生み出しています。

E 脱炭素社会を先導する

省エネ・省水への取り組み-Waterway Point

美しい景観のプロムナードと大きなショッピングモールを擁する Waterway Point は、共同事業パートナーとともに複合開発を行った、運河沿いに広がる商業施設です。ファサード照明、サニタリー内設備のアップグレードによる省エネルギーおよび省水を実施しています。また、ISO14001(環境マネジメントシステム)の取得に続き ISO50001(エネルギーマネジメントシステム)の取得に向けて取り組んでいます。これらの国際規格に準拠し、環境およびエネルギーマネジメントシステム構築を推進するとともに、継続的な改善に取り組んでいます。



Waterway Point の商業施設と Water Town の分譲マンション「Green Mark*」で「Gold Plus(ゴールドプラス)」を取得
*建物の仕様やパフォーマンスを規定した環境性能評価

S 「住」の可能性を追求する

「ライフスタイルの提案」に取り組む

One Holland Village は共同事業パートナーと進めている、住宅、サービスアパートメント、商業施設、オフィスを擁する複合開発プロジェクトで、当社が提案する「スローリビング」のコンセプトを導入しています。シンガポールでは、部屋の大きさ、仕上げ、設備仕様などを訴求した住宅セールスが一般的ですが、「ライフスタイルの提案」という販売手法にローカルパートナースタッフとともに取り組んでおり、他社との差異化を示すことができています。

新型コロナウイルスの影響で在宅ワークが進んだため、積水ハウスの「コドモイドコロ」のコンセプトや在宅ワークのアイデアを取り入れたモデルルームを通じてお客様に新しい価値を提供しています。

活動報告 各国共通

G インテグリティを体現する

ガバナンス強化において国内と密に連携

各国現地法人との間で月に2回程度の個別ミーティングを実施し、密なコミュニケーションに努めています。

企業理念を英語化し徹底

各国での事業拡大にあたり、全従業員が企業理念を深く理解して業務に臨むことが重要と考え、企業理念を英語化しました。今後、教育体制の構築も含めて、全世界へと浸透させていきます。

海外監査室の活動と海外内部通報制度の創設

2019年4月に海外監査室が発足、2020年6月に英語圏の海外子会社の従業員を対象にした内部通報システム「積水ハウスグローバルヘルプライン」を設置し、社外の弁護士事務所を窓口として対応しています(中国の子会社向けには別途窓口を設置)。

海外クライシス対応ガイドライン策定によるリスクマネジメント強化

リスクマネジメント強化の一環として、海外クライシス対応のガイドラインを策定中です。また、クライシスへの共通の理解と姿勢を持ち、本社と海外拠点が適時、横断的に対応できる体制も構築中です。